

—ONWARD—
CROSSET



—ONWARD—

Press

第75期 株主通信

2021.3.1—2022.2.28

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード：8016

株主の皆さまへ

株式会社オンワードホールディングス
代表取締役社長
保元 道宣



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
第75期連結会計年度(2021年3月1日から2022年2月28日まで)の事業の概況について
ご報告申し上げます。

当社は、2021年4月に策定したオンワードグループ中長期経営ビジョン『ONWARD VISION 2030』において定めた「ヒトと地球に潤いと彩りを」という新しいミッションステートメントの下、「社員の多様な個性を生かしたお客さま中心の経営」を日々心掛け、「お客さまにとっての価値をお客さま自身と共創できる企業」への進化を目指し、グループ社員一丸となって努力を続けております。

初年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、1年の約3分の2が「緊急事態宣言」あるいは「まん延防止等重点措置」という状況の中、非常に厳しい経営環境となりました。そのような中、ライフスタイル関連事業につきましては、堅調な実績を残すことが出来ました。アパレル関連事業につきましては、グローバル事業構造改革による不採算事業や不採算店舗からの撤退を進めるとともに、リアル店舗とEコマースの融合を着実に推進し、『クリック&トライ』サービスを導入したOMO型店舗数を拡大することなどで、営業損益を大幅に改善することが出来ました。

今後の経営環境も楽観できる状況ではありませんが、引き続き事業構造改革を推進するとともに、今迄以上にお客さまに密着した販売施策を強化することにより、ご購入額やご利用頻度を高めることで、今期および『ONWARD VISION 2030』の目標達成に向けて努力を続けてまいります。

今後も株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、精一杯努めてまいりますので、当社グループの経営に引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年5月

当期(2022年2月期)の業績概況

当連結会計年度(2021年3月1日から2022年2月28日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ワクチン接種率等の向上により一時的に感染の拡大を抑制できたものの、オミクロン株の急速な感染拡大によって全国的に「まん延防止等重点措置」の適用による外出自粛や、原材料価格の高騰など厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループでは、2020年2月期より取り組んできたグローバル事業構造改革の一環としてのイタリア事業からの撤退などの施策が、売上の下押し要因となりました。しかしながら、アパレル関連事業の重点施策であるリアル店舗とEコマースの融合を着実に推進し、『クリック&トライ』サービスを導入したOMO(Online Merges with Offline)型店舗数を拡大し、在庫一元管理システムの本格稼働により在庫管理をさらに徹底いたしました。この結果、不採算事業・店舗からの撤退による効果と合わせ、

既存リアル店舗、Eコマース双方の売上高伸長と売上総利益率の向上および固定費削減による販管費率の低下を実現し、営業損益が大幅に改善しました。

以上の結果、連結売上高は1,684億53百万円(前期比4.2%減)、連結営業損失は10億79百万円(前期は営業損失201億73百万円)、連結経常利益は5億7百万円(前期は経常損失201億74百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は85億66百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失231億81百万円)となりました。

また、当社グループは不透明なコロナ禍の状況の中で、経営を安定的に推進するためにバランスシートの改善にも注力しました。当期においては、固定資産の流動化や資金運用の効率化等による財務体質の健全化に努めた結果、自己資本比率は前期比13.5ポイント上昇し42.4%となり、当社が適正と考える40~50%の範囲に回復しました。

セグメント別概況

〔アパレル関連事業〕

国内事業は、中核事業会社である株式会社オンワード樫山では、不採算事業や不採算店舗からの撤退や、OMO型店舗の拡大等の販売戦略を着実に遂行することで、増収し赤字幅を大幅に縮小しました。BtoB事業を手掛けるオンワード商事株式会社は、減収ながらも利益率の高いユニフォーム事業の売上高が堅調に推移し増益となりました。また、Eコマースを販路とするティアクラッセ株式会社、就活スーツで高い評価

を獲得しているオーダースーツ『KASHIYAMA』を展開する株式会社オンワードパーソナルスタイルで増収となりました。

海外事業は、グローバル事業構造改革による不採算事業からの撤退等により、収益性が向上し、収支が大幅に改善しました。

以上の結果、アパレル関連事業全体では減収ながらも赤字幅を大幅に縮小しました。

営業概況

[ライフスタイル関連事業]

ウェルネス事業のチャコット株式会社では、前期は新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい情勢にあった主力のパレエ用品の受注が回復した事により、大幅に増収し黒字に転換しました。ギフト事業の株式会社大和、ペット関連事業の株式会社クリエイティブヨーコ、ビューティ・コスメ事業の株式会社KOKOBUYにおいて増収増益

となりました。

一方、グアム島でリゾート事業を行うオンワードビーチリゾートグアムINC.等は、来島者数の激減の影響により、引き続き減収となりました。

以上の結果、ライフスタイル関連事業全体では増収増益となりました。

今期(2023年2月期)の業績予想

今期につきましては、国内では、コロナ禍の影響が継続することが見込まれ、また、生産拠点であるアジア、中国等におきましても、非常に不透明な状況が想定されます。一方で、欧州における廃止事業の影響はあるものの、OMO戦略の加速やカスタマイズ事業などのアパレル事業およびライフスタイル事業の成長戦略の推進により、連結売上高は、前期比0.1%増の1,687億円を計画しています。

また、Eコマース売上高は、引き続き新規D2Cブランド事業の成長を加速するとともに、OMO戦略でEコマースでも店頭在庫を引き当てて、

販売の機会損失を最小限にしながら売上を拡大していく戦略を継続し、グループ全体で前期比11.4%増の480億円を計画しています。

収益面では、在庫管理の徹底や、値引き販売の抑制などの販売施策により売上総利益率を改善するとともに、販管費につきましても、『クリック&トライ』サービスの活用によるリアル店舗の単店舗売上への拡大により、リアル店舗事業の販管費率を引き下げることなどにより、連結営業利益は21億円、親会社株主に帰属する当期純利益は17億円を予想しています。

連結業績ハイライト

(百万円)

	2019.2	2020.2	2021.2	2022.2	2023.2(予想)
売上高	240,652	248,233	175,899	168,453	168,700
営業利益(△損失)	4,461	△3,061	△20,173	△1,079	2,100
経常利益(△損失)	5,161	△3,835	△20,174	507	2,050
親会社株主に帰属する当期純利益(△純損失)	4,948	△52,135	△23,181	8,566	1,700
総資産	287,554	234,316	196,052	157,727	—
1株当たり当期純利益(△純損失)(円)	35.24	△383.97	△171.18	63.17	12.54
EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)	13,274	5,079	△14,133	3,915	7,080

(注) 1. 当連結会計年度より不動産賃貸に係る損益の表示方法を変更しており、前連結会計年度については組替後の数値を記載しています。

2. 当連結会計年度の期首より「収益認識に関する会計基準」および「収益認識に関する会計基準の適用指針」を適用しています。

アパレル

“ネットで取り寄せ、お店で試着・購入” OMOサービス 『クリック&トライ』リニューアル

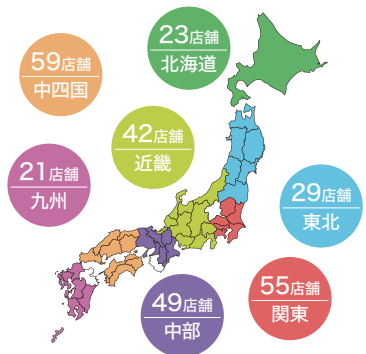
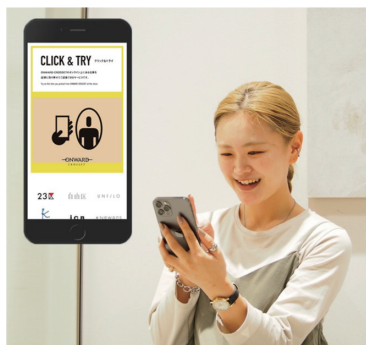
44都道府県278店舗へ導入拡大で、より便利でより身近なサービスへ

株式会社オンワード樫山は、この度、当社ブランドの商品をブランドの垣根を越えて店舗に取り寄せ、試着・購入できるOMOサービス『クリック&トライ』をリニューアルしました。

『クリック&トライ』は、オンワードグループ公式ファッション通販サイト『ONWARD CROSSET(オンワード・クローゼット)』の商品を、リアル店舗で試着・購入できるお取り寄せサービスです。サービスが導入されている全国の各店舗で、お取り寄せしたアイテムを着て、納得して買い物を楽しむことができます。

携帯やPCからますます簡単・便利に利用が可能になり、現在44都道府県278店舗でサービスを提供しています。「WEBで見たコーディネートそのまま試したい」「コロナ禍で複数の店舗に行くのは不安なので、商品を一度に試したい」「パートナーとの買い物を同じ場所で済ませたい」といった多くのお客さまにご利用いただいています。

さらに今後、より身近な店舗で便利にご利用いただける環境を提供し、オンラインとオフラインのメリットを融合した新しい購入体験機会を全国へ拡大していきます。



■ OMO Div. 課長 前川 真哉 コメント

『ONWARD CROSSET』で気になる商品を試してみたいというお客さまの想いに応えるため、『クリック&トライ』サービスをスタートしました。当サービスは、お客さまご自身で商品を選び、好きな店舗で試着が可能です。店舗では、店頭スタイリストとの会話を楽しみながら、商品について気になる点を聞いたり、その商品に合うコーディネートなどを知ることでもあります。お客さまの新しい買い物スタイルとしてご利用いただけますと幸いです。

ライフスタイル

次世代型グローバル・
フラッグシップストアグランドオープン

オンワードグループのチャコット株式会社は、ブランドフィロソフィーに掲げる“人生を、芯から美しく。”を具現化する、「チャコット代官山本店」をグランドオープンしました。

元「KASHIYAMA DAIKANYAMA」に、渋谷から店舗とパレエレンススタジオを移設した、次世代型グローバル・フラッグシップストアです。創業以来のコア事業であるパレエを堅持し、ウェルネス領域への提案ブランド〈チャコット・バランス〉と〈チャコット・コスメティクス〉の展開を強化。カフェ、レストランも運営し、生活シーン全般に向けてブランドフィロソフィーをトータルに発信します。

世界的に不安な情勢が続く中、「チャコット代官山本店」はパレエ文化を通じて世界をつなぐ、国際文化交流の懸け橋となることを目指します。



チャコット代官山本店

施設概要

名称 チャコット代官山本店
オープン日 2022年3月12日(土)
延床面積 約2,465㎡(約747坪)

フロア別主要取扱内容

5F プレスルーム フォトシューティングスペース
4F 「COTEAU」(レストラン コーナー)
3F ショップ パレエウェア コスメティクス パレエ衣裳
2F ショップ パレエ用品(シューズ シューズ雑貨等)
1F パレエスタジオ
B1 Cafe 「COTEAU」(カフェ コーナー) / バランス スタジオ/フィットネス ウェア/コスメティクス

ライフスタイル

SNSで贈れるソーシャルギフトサービス
「dōzo(どーぞ)」の開始

オンワードグループの株式会社大和は、対面で手渡したり配送をしなくても、SNSを使って気軽に贈り物ができる新しい形のギフトサービス「dōzo(どーぞ)」を開始しました。

「dōzo」では、80種類以上の「ギフトテーマ」を設定し、51名の人気イラストレーターが各テーマイメージを書き下ろしたユニークなイラストデザインのメッセージカードをご用意し、ギフトは、ユーザー世代

のバイヤーが「リアルに贈りたいもの」を厳選しました。

贈り方は、「SNSで贈る」と「手渡して贈る」の2種類。受け取った方は、「dōzo」公式ECサイト(dozo-gift.com)にて、5点のギフトからお好きな1点を選べます。

今後、「dōzo」では、ギフトテーマを100テーマまで拡大し、贈る側も受け取る側も楽しめる、新たなギフトの贈り方をご提案していきます。

贈り方

SNSで贈る
(ソーシャルギフト)

- 今すぐ贈れる
- 会えなくても贈れる



手渡して贈る

- 紙製ギフトチケット
- イラストステッカー付き



ミッションステートメント

「ヒトと地球に潤いと彩りを」

オンワードグループは、サステナブル経営の推進を企業活動の根幹をなす重要なテーマとして、「ヒトと地球に潤いと彩りを」というミッションステートメントに基づき、地球と共生する経営を推進してまいります。

このたび、当社グループは、ミッションステートメントの実現と持続的成長に向け、優先的に取り組むべきテーマとして、以下の5つの重要課題を設定しました。



当社グループのサステナビリティに関する詳細情報は、当社サステナビリティサイトからご確認いただけます。下記URLまたは右のQRコードからアクセスください。

<https://www.onward-hd.co.jp/sustainability/>



重要課題

1

地球と共生し、 未来につながる事業活動



私たちは、潤いと彩りに満ちた地球を未来につなぐために
低炭素社会・循環型社会の実現を目指します。

TOPICS

地球規模の漂着ごみ問題を知り、生活スタイルを見直す ビーチクリーン活動に参加

2022年3月27日、アパレル関連事業の主要会社であるオンワード商事株式会社は、NPO団体「海Love ネットワーク in 石垣島」の主催するビーチクリーン活動に参加しました。これは、繊維専門商社の豊島株式会社様が推進している、地方自治体及び企業と連携して行う海・川・森のクリーンアップ活動で回収したペットボトルゴミ等を、アパレル製品原料となる繊維「UpDRIFT™」に生まれ変わらせる取り組みに賛同して実現しました。「UpDRIFT™」からは、Tシャツやポロシャツ等のカットソーやウインドブレーカーやジャンパーなどのアクティブウェア、トートバッグやサコッシュなどのアクセサリーなどをつくることができます。

オンワード商事は今後も、海洋プラスチック問題の自分ごと化や解決に向けた取り組みを推進してまいります。



清掃前のビーチの様子



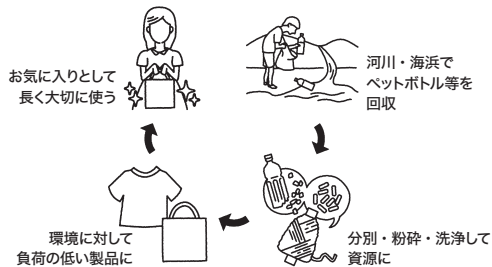
UpDRIFTにてつくられたTシャツを着て清掃



約110人でビーチクリーン



集まったペットボトル



重要課題

2

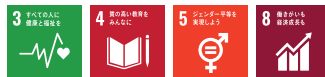
パートナー企業と共に



私たちは、サプライヤーや地域コミュニティと長期的な信頼関係を構築し、
共に成長しながら共生していきます。

重要課題
3

潤いと彩りに満ちた働き方



私たちは、社員一人ひとりが明るく自由で、
快活に働くことができる環境を整え、
仕事とプライベートの相乗効果を創出する事を目指します。

重要課題
4

多様な個性と共に



私たちは、多様性を歓迎し、
多様で个性的な人材が活躍できる企業を目指します。

重要課題
5

誠実で公正な経営



私たちは、社会から信頼され必要とされ続けるために、
誠実で公正な企業風土を醸成する事が重要だと考えています。

TOPICS

ウクライナにおける人道支援活動のための寄付について

株式会社オンワードホールディングスは、ウクライナおよびその周辺地域で被災された方々への人道的支援のため、日本赤十字社への寄付を行っております。この寄付金は、赤十字国際委員会(ICRC)、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)、各国赤十字社が実施するウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動の支援に使われます。

これらの寄付金は、日本赤十字社とのさらなる社会貢献活動を推進することを目的に、2018年よりオンワードグループ公式ファッション通販サイト『オンワード・クローゼット』で毎月開催している「RED CROSS DAY」の売上の一部を充当しています。

オンワードグループは、「ヒトと地球に潤いと彩りを」というミッションステートメントのもと、人々の豊かな生活づくりへ貢献することを使命として事業活動に取り組んでいます。一刻も早くこの緊急事態が解決し、ウクライナおよび世界における平和が取り戻されることを願っております。

会社情報

会社の概要

(2022年2月28日現在)

社名	株式会社 オンワードホールディングス ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	1947年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粹持株会社としてのアパレル関連事業、 ライフスタイル関連事業を営む傘下関係会社の 経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	110名(連結従業員数:6,377名)
所在地	東京都中央区日本橋三丁目10番5号
主要関係会社	(アパレル関連事業) 株式会社オンワード樫山 オンワード商事株式会社 株式会社アイランド 株式会社オンワードパーソナルスタイル ティアクラッセ株式会社 ジョゼフLTD. ジェイプレスINC. 恩瓦徳時尚貿易(中国)有限公司 (ライフスタイル関連事業) 株式会社大和 チャコット株式会社 株式会社クリエイティブヨーコ 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社KOKOBUY 株式会社オーアンドケー オンワードピーチリゾートグアムINC.

取締役および監査役

(2022年5月26日現在)

代表取締役社長	保元道宣
取締役副社長	知識賢治
取締役	佐藤修
取締役	池田大介
取締役	川本明
取締役	小室淑恵
常勤監査役	清家彦三郎
常勤監査役	小野木伸良
監査役	梅津立
監査役	草野満代

- (注) 1. 取締役 川本明、小室淑恵の両氏は、社外取締役です。
2. 監査役 梅津立、草野満代の両氏は、社外監査役です。
3. 小室淑恵氏の戸籍上の氏名は石川淑恵です。

株式情報

株式の状況

(2022年2月28日現在)

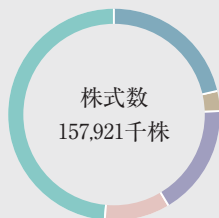
発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	157,921,669株
株主数	41,991名

(注)発行済株式の総数には、自己株式22,287千株が含まれております。

所有者別株式分布状況

■ 金融機関	33,930千株	21.5%
■ 証券会社	4,783千株	3.0%
■ その他の法人	26,638千株	16.9%
■ 外国法人等	16,136千株	10.2%
■ 個人・その他	76,434千株	48.4%

(注)個人・その他には、自己株式が含まれております。



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日	上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
定時株主総会	毎年5月中	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告掲載URL	https://www.onward-hd.co.jp/
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		

大株主

(上位10社)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,231千株	9.0%
公益財団法人樫山奨学財団	8,710千株	6.4%
オンワードホールディングス取引先持株会	4,907千株	3.6%
日本生命保険相互会社	4,671千株	3.4%
第一生命保険株式会社	4,200千株	3.0%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,197千株	2.3%
株式会社三井住友銀行	2,931千株	2.1%
株式会社三越伊勢丹	2,301千株	1.6%
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	2,159千株	1.5%
株式会社グイードーリミテッド	2,149千株	1.5%

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式22,287千株を保有しております。
3. 持株比率は、自己株式22,287千株を控除して計算しております。

株主通信WEBアンケートにご協力ください

下記URLまたはQRコードから、アンケートにご回答ください。

アクセス方法



パソコンから

右記URLからアクセスください。



<https://q.srdb.jp>

アクセス
コード
8016



スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。



● アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから2022年6月30日(木)までになります。



「ネットでアンケート」は宝印刷株式会社が運営し、ご回答いただいた内容は宝印刷株式会社が管理いたします。

宝印刷株式会社については<https://www.takara-print.co.jp/>をご参照ください。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承認なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートに関するお問い合わせ先: kabu@takara-print.co.jp

※ 平日17時以降、ならびに土、日、祝日および年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答になります。

株主優待のご案内

株主ご優待用 ご利用ガイド

単元株以上保有の株主さまには「オンワード・クローゼット」の商品を20%引きで6回ご購入いただける「買物割引券」を1枚進呈いたします。

詳細は同封の「株主ご優待用 ご利用ガイド」「買物割引券」をご覧ください。



買物割引券



ONWARD

株式会社 オンワードホールディングス

〒103-8239 東京都中央区日本橋三丁目10番5号
TEL.03-4512-1020



この報告書は環境に配慮した
植物油インキを使用しています。